

アジア6カ国の大学生72人がフィールドワークを通じ、生物多様性について学びます ベトナムで第4回「アジア学生交流環境フォーラム（ASEP）」を開催

公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田卓也 イオン株式会社名誉会長相談役、以下 当財団）は、8月3日（月）より7日間、ベトナム社会主義共和国（以下、ベトナム）ハノイにおいて第4回「アジア学生交流環境フォーラム」（Asian Students Environment Platform（ASEP）2015）を開催します。

生物多様性を取り巻く深刻な状況を受け、2010年10月に名古屋市で開催された「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」において、当財団は生物多様性事務局と「環境教育の推進」「植樹の実施」等について協力して取り組む覚書を締結しました。

この覚書に基づき、当財団は2011年に開始した「国連生物多様性の10年」の推進とグローバルな視野で活躍する環境分野の人材育成を目的に、2012年より10ヵ年計画でASEPを開催しています。ASEPでは、アジア各国の大学生が集まり、各国の自然環境や歴史・文化、価値観の違いを学びながら、生物多様性についてグローバルな視野で意見を交換し合います。

昨年は、中国、日本、韓国、マレーシア、ベトナム5カ国の学生が中国に集まり、「水と人」をテーマに考察を深めました。第4回となる本年は、新たにカンボジアの学生が加わり、6カ国72人の学生が「生物多様性と人」をテーマに、環境保全や自然との共生のあり方についてディスカッションを重ねていきます。教育プログラムはベトナム国家大学ハノイ校監修、早稲田大学協力によるもので、ハノイ、ニンビン、世界遺産ハロン湾などでのフィールドワーク、有識者からの講義や地域の方々へのインタビューなどを実施する予定です。

当財団は2014年より3ヵ年計画でハノイ近郊のバ・ヴィ国立公園において植樹活動を実施し、これまでに7,500本の木を植えました。本プログラム内でも、学生たちはハノイ市内ロンビエンにベトナム3店舗目としてオープン予定のショッピングセンター敷地内にてイオングループが実施する植樹祭に参加する予定です。

当財団は、次代を担う子どもたちに美しい水と緑を届け、人と自然が共生する「夢のある未来」を実現するために、これからもさまざまな取り組みを行ってまいります。

記

1. 日 時：8月3日（月）～8月9日（日）
2. 場 所：ベトナム社会主義共和国（ハノイ、ニンビン、クアンニンなど）
3. 主 催：公益財団法人イオン環境財団
4. 共 催：ベトナム国家大学ハノイ校、早稲田大学
5. 参 加 校：王立プノンペン大学（カンボジア）、清華大学（中国）
（国名アルファベット順） 早稲田大学（日本）、高麗大学校（韓国）、マラヤ大学（マレーシア）
ベトナム国家大学ハノイ校（ベトナム） 計72人

以上

◆プログラム詳細

- 8月 3日(月) 開講式
- 8月 4日(火) クックフォン国立公園(ニンビン)
- 8月 5日(水) ハロン湾(クアンニン)
カットバ島内 カットバ国立公園、ザールアン地区(ハイフォン)
- 8月 6日(木) ランハ湾、カットバ島内 チャンチャウ地域(ハイフォン)
- 8月 7日(金) ドンホー村(バクニン)
- 8月 8日(土) イオンモールロンビエン植樹祭(ハノイ)
- 8月 9日(日) 成果発表、閉講式



ASEP2012(日本で開催)



ASEP2013(韓国で開催)



ASEP2014(中国で開催)
天津市 計画展示ホール視察



ASEP2014
クブチ砂漠視察

【「国連生物多様性の10年」への取り組みについて】

◆「The MIDORI Prize for Biodiversity(生物多様性みどり賞)」(国際賞)

「国際生物多様性年」である2010年、当財団が同年に20周年を迎えたことも記念し、「The MIDORI Prize for Biodiversity(生物多様性みどり賞)」を創設しました。当賞は、生物多様性の保全と持続可能な利用等に関し、世界、地域または地方レベルで顕著に貢献している個人を表彰しています。また、すぐれた業績を紹介することで、生物多様性に関する積極的な活動を支援し、人々の認識を高めることを目的としています。

◆「生物多様性日本アワード」(国内賞)

2010年に生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が開催されることを契機に、前年の2009年に生物多様性の保全とその持続可能な利用を推進することを目的に創設しました。今年度は、10月20日(火)に東京の国連大学内ウ・タント国際会議場にて授賞式を実施する予定です。

国際賞と国内賞を、隔年で実施しています。

ご参考

【公益財団法人イオン環境財団について】

当財団は、地球環境を守るためのさまざまな活動を実施するとともに、同じ志を持つ各団体への支援を目的として1990年に設立されました。設立以来、生物多様性の保全のため、植樹活動や環境NGO・NPOの支援、国際会議の実施に継続的に取り組んでいます。今年は設立25周年を迎えることを記念し、中国の北京で「日中環境問題国際シンポジウム」を開催する予定です。

※公益財団法人イオン環境財団ホームページ <http://www.aeon.info/ef/>

【ベトナムにおけるイオンの環境・社会貢献活動について】

ベトナムでは、当財団による活動のほか、公益財団法人イオンワンパーセントクラブを通じてさまざまな活動を行っています。

◆植樹活動



当財団は2010年から2012年の期間、ベトナムのフエ省で合計約7万本の植樹活動を実施しました。また、2014年より3ヵ年計画でハノイ近郊のバ・ヴィ国立公園において植樹活動に取り組み、これまでに7,500本の木を植えました。ベトナム国内での植樹本数は約7万7,500本を超えます。

◆ティーンエイジ アンバサダー (※公益財団法人イオン1%クラブ主催)



1990年より実施している高校生の国際交流事業「ティーンエイジ アンバサダー」において、日本とベトナムの高校生が2007年、2014年に参加し、交流を深めました。小さな大使(アンバサダー)として、両国の政府、大使館への表敬訪問、授業体験やホームステイを通じて価値観の多様性を学び、相互理解を深めています。

◆学校建設支援事業 (※公益財団法人イオン1%クラブ主催)

2000年よりイオングループ店舗、事業所での募金を実施し、(公財)イオン1%クラブからの拠出金をあわせた日本ユニセフ協会への寄付を通じて、学校建設の支援をはじめ、学習に必要な教材の提供や教員の育成プログラムなどの支援を行っています。ベトナムでは2010年から2013年にかけて30校の小学校建設を支援しました。

◆イオン スカラシップ (※公益財団法人イオン1%クラブ主催)

日本で学ぶアジアからの留学生及びアジア各国の大学生に奨学金を付与する「イオン スカラシップ」では、これまでに7ヵ国3,900人以上の大学生に奨学金を支給しています。ベトナムでは2011年より「イオン スカラシップ」を開始し、これまでにのべ390人に奨学金を付与しています。

◆アジア ユースリーダーズ (※公益財団法人イオン1%クラブ主催)



2014年、参加高校生・大学生が開催地の社会問題の解決に向けてディスカッションするプログラム「アジア・ユースリーダーズ」をハノイにて開催しました。参加者は「大気汚染」の問題についてディスカッションを重ね、現地政府に改善・解決策を提案しました。